

令和6年度

信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会

山ノ内町立山ノ内中学校1年への質問・感想

(生徒のみなさんへ)

- ・ 山ノ内への思いがとても伝わってきました。是非、山ノ内の魅力を世界中に発信してってください。
- ・ 山ノ内中学校では、「地域活性化のために自分たちができることを実践していこう」という目標をもとに、中学三年間を通して取り組んでいるということが分かりました。山ノ内町の魅力と課題について簡潔にまとめられていて、発表者の皆さんがこの活動を通して、地元への愛着が強くなったり、地域の抱える問題に対して当事者意識を持って取り組んでいることが伝わりました。
- ・ 現状の課題発見は、志賀高原BR域内に入って調査して得たものですか？具体的にご紹介頂けたらと思います。
- ・ 普段の生活の中で山ノ内の、よさを再認識できたことはどのような点ですか。
- ・ 山ノ内中学校の皆さんとても興味深い発表でした。昔からESDの学習を進めていた地域ですがやはり今日発表された内容は先輩方もテーマにしていた内容でした。
10年後より良い町になるよう町での会議にも学生さんが参加し協議できたらいいなと思いました。
大人達がどのように良い町を作り上げるのか子供達も一緒に考え知るべきだと思いました。
これからの山ノ内町とても楽しみです。
- ・ 田植えをする体験は普段の食生活に欠かせないお米の大切さを知ることができるいい活動だなと思いました。金賞を目指すというモチベーションがあると、活動への意欲がとても大きくなると思いました。また、ベイルの学校と英語で交流することにチャレンジすることはすごいと思いました。
- ・ ウッドデッキはどのように活用したいと思いますか。
- ・ 山ノ内町の魅力では、志賀高原や温泉などの自然が豊かであるということ、スキーなどのスノースポーツが盛んであることを紹介し、それらが抱える課題を各班ごと違った視点から見つけ、解決策を自分たちなりに考えられてよかったと思う。
- ・ 地域活性化のために中学生のうちからESDについて考えて学習されてていて感心しました。現在の山ノ内町の現在の課題をしっかりと見極め、10年後に理想の街になるように適切な解決方法が提案できていてとてもいいと思いました。今ある魅力から、さらに違う視点でも発展した山ノ内について考え、SNSを使った宣伝などを提案できていていいと思いました。
- ・ 自分たちが暮らしている山ノ内町の武器になる特徴と課題の両方を自分たち自身でしっかりと把握し、今後その利点を生かしてより多くの観光客が来たり、課題を解決して山ノ内地域に住む人が増えるように様々なことを工夫している点が素晴らしいと思った。
- ・ 地元の山ノ内町のことを知り、現状を改善するための活動をしたということが分かった。どのグループもまず、地元の人に話を聞き、今ある問題を聞き出し、どうすればより良い山ノ内町になるかを考えていた。私は長野県外出身だが、渋温泉は観光地として有名な場所であるというイメージをもっていた。しかし、中学生の発表を聞いて、実際はスキー場目当てで来る人が多く、温泉は付属として入るとい人が多いということが分かった。山ノ内町は観光で有名な場所であるから、中学生の力でもっと活力をだしてほしいと思う。
- ・ 山ノ内に地獄谷野猿公苑以外の魅力を伝えていこうという取り組みはとても良いと感じました。志賀高原のような素晴らしい景観や自然があるため、地獄谷以外の魅力を伝えることは大切だと感じます。また、発表を通じて山ノ内町の魅力が十分に伝わってきました。そして、CMなどを用いてその魅力を伝えていくという考えは、今後観光客への周知などにもつながるため、とても良いと思いました
- ・ 様々な調査を通して情報を集め、山ノ内町の魅力と課題について簡潔にまとめられていた。魅力の情報収集を通してその魅力に対する課題を分析し、その課題に対してどのようなことができるか、自分たちでやってみたいことは何かを生徒自身で考えられていて良いと思った。
- ・ 地域の魅力というものを認識しながらもその中から課題を考えていて、すごいと思いました。何事も知ろうとする姿勢が一番大切であると思うので、そのような姿で活動に取り組んでいて、さらに具体的な策も考えていたと感じたので良かったと思います。
- ・ 山ノ内町では、温泉や山が多く、スキーなどのスノースポーツがとても盛んなことが分かりました。その中で、中学生の段階から、自分たちの地域の問題点を見つけ、それらを解決していこうとしている姿がとてもすごいなと思いました。
- ・ 山ノ内町の魅力がたくさん伝わりました。私は地元が長野県ではないので初めてこの動画を通して山ノ内町を知りました。その点では、多くの人が利用しているSNSで地域の魅力を発信するという意見がすごく良いと思います。加えて、ポスターなどを作ることで絶景に目が止まり、訪れる観光客も増えるのではないかと考えました。また、今回の動画を通して山ノ内町の課題を生徒一人一人が見つめ直して、自分の町について振り返る大切さを学ばせていただきました。私も大学生中に山ノ内町を訪れ、自分のSNSを通じて、山ノ内町の活性化に少しでも貢献したいと思いました。

- 志賀高原、北志賀高原、渋温泉、スノースポーツなど、地元の特徴の魅力や良さについて知ることができました。しっかりと地元について分析し、色んな視点から解決策を見出しているところがとても素晴らしかったです。湯田中温泉や渋温泉をもっと広めるためにSNSを使用するというアイデアも良いと思いました。
- 山ノ内の地域活性化のために、志賀高原、北志賀高原、湯田中渋温泉郷を調査していてアクティブだと思った。ふるさとの魅力と課題を調査を元に考えられていて良いと思った。温泉がある地域とない地域では、町の強さが全く違うと思うので、山ノ内の温泉をもっと広く知らせられると良いですね。
- 山ノ内町に対しての10年後どのような街にしたいのか、そのために何が必要なのか、魅力は何なのかなどの課題や解決方法をグループとしてまとめ、そのあとに自分の振り返りをしているところが分かりやすかった。
- 自分たちの身の回りにある観光地や自然について主体的に考えていてよかった。また、どのような課題があるのか、どうやってその課題を解決していくのか、というようなところまで考えられていて素晴らしいと思いました。
- 各班に分かれて、山ノ内の魅力と課題について、探検をして町の人に聞きに行ったり、インターネットで調べたりをして、たくさん情報を集めていた点がすごく自主性がある良いと思いました。現状を知ることは大切なことで、そこから見つけられることは多くあると思います。
- 各地の地域の魅力と課題を現地まで行って取材を行うことがとても良いと思いました。そして自分たちにできることを考えて述べている点がさらに良いと思いました。また私の知らない地域だったためすごくためになり、私も魅力や課題を知るきっかけとなりました。ありがとうございました。
- 自分たちの地元である山ノ内町について、現状と課題を考え、解決策を模索する活動に感心しました。山ノ内町の旅館などの施設を実際に利用することは少ないかと思いますが、体験することで、さらに地元の良さを感じられるのかなと思いました。このような研究は地域の活性化に繋がるため、これからも頑張ってもらいたいと思います。
- 実際に現地に赴いて観察したり、インタビューを行ったりと自分たちで情報を集めようとしていたところが本気度が伝わってきてとても良いと思いました。また、そうやって現地で情報収集を行うことで信憑性が上がり説得力のある発表になっていたと思うので、今後もぜひ現地調査を行なって欲しいと思いました。
- 山ノ内町の魅力をしっかり把握し、PRしていこうと考えている姿勢が素晴らしいと思いました。実際に現地に出向き、取材を行うということをしていて、すごいと思いました。SNSを上手に活用し、山ノ内町を活性化させて欲しいと思います。
- 調査などを通して課題である点をしっかり整理できており、そこから課題の解決に向けての話ができていていいと感じた。個人個人でもしっかりと山ノ内町のことについて考えているのだなと伝わる発表ですごくよかったと思う。
- 地元の良さを発信して活性化させていくために実際に行ってみてフィールドワークをすることで、地元民でも行ったことがない場所や知らない名産品などを知ることができるため、すごく良いと思った。課題や現状などが明確になっている点も見やすくてよいと思った。
- 中学生ながらにして自分たちで調査を行い、かつ山ノ内町の魅力を見つけるだけでなく、より魅力的な町となるために課題を見つけ、山ノ内町がより良い観光地となりうるように近代的な解決方法が考えられていて、とても素晴らしいと感じた。これからもより調査に勤しんでいただきたいと思った。
- 山ノ内中学校では、目標として「地域活性化のために自分たちができることを実践していこう」というものでした。この中学校では3年間で行う活動のビジョンが明確化されていてとても素晴らしいと思いました。一年生は「知る」二年生は「比較」三年生では「発信」という具体的になっていていいと思いました。
- 地域活性化のために中学校三年間を通して地元について学んでいくというのは、学校生活の中での一つの大きなイベントであると感じました。スキーだけでなく、温泉や商店街も魅力であることをこれからも発信して欲しいと思いました。
- 三年間を費やし、地域活性化に向けて知識や情報の収集から、街づくりの討論まで行う中で、自分の故郷の良さや強みに気づくことができるだけでなく、地域が抱えている現状の課題を知り、活性化に向けて具体的な策を検討できていてよかった。
- 山ノ内の良さについて探求しそれを広めようとする姿に感銘を受けました。発表を受けて私も一度山ノ内町に行ってみたいと思いました。それくらい素晴らしい発表でした。これからも頑張ってください。

(教職員のみなさんへ)

- スノーモンキーやスキーの魅力だけでなく他の魅力をと考えた際に、スキーなどの魅力とそれ以外の魅力を分けて考えることに加え、スノーモンキーやスキーの魅力と温泉の魅力を掛け合わせて考えてみるのも面白そうだと思います。自分達の地域ならではの追究から始められていてとても興味深く、もっと知りたいと思いました。例えば、冬の観光だけでない魅力や課題にどのようなものがあつたのか、観光客と移住者の違いにはどのようなものがあるのか（観光客は一過性の非日常的な体験を求め、移住者は日常的な過ごしやすさを求めるなど?）。多様な発信方法が考えられていてとても面白かったので、その発信内容について、自分が具体的にどのような部分に魅力があると思うのか、また内部にいる自分から見た山ノ内と外部からきた観光客や移住者が感じる魅力の違い（自分たちからみたら山ノ内の夕日や山々の自然は当たり前なものに見えるが、山ノ内に赴いた人はその夕日や山々の見事に感動するなど?）、山ノ内に似た観光地や温泉街との違い、山ノ内の独自性は何か、など具体的にお聴きしてみたいと思いました。

- ESDの学習を①知る②比較する③発信すると段階的に分けていることで、それぞれの学年の目的や活動が明確になっていた。この活動がキャリア教育にもつながっている点も参考になった。問題発見・解決型学習であるため、探究的に学んでいる姿がそこにはあると思うが、地域の魅力・課題発見で、体験学習（現地へ行って調査・現地の方や観光客へのインタビューなど）が多いほど、生徒にとって切実感のある問題となっていくのだと考えた。社会科の地域の在り方や、地方自治など、様々な教科とのつながりがある学習であると感じたため、カリキュラムマネジメントをどのように行っているのかさらに知りたいと思った。毎年繰り返し行っていく活動であれば、生徒間の活動の引継ぎ（自分たちの学年では何が分かり、どこまで進んだのか）が行われると、活動の質がさらに高まるのではないか。
- 実際に山ノ内町・湯田中の温泉街に足を運んで調査し、インタビュー調査等から課題を見つけているということを中学生の生徒たちが行っていることに驚きました。そこから挙げられた課題として冬以外に魅力が少ないこと、旅館街が人手不足であることを挙げており、その解決のために、SNSやテレビCMを活用することについて述べられていた。また、今回のESDの発表で終わるのではなく、今後も調べたい・考えたいという姿勢がとても素敵だと感じました。
- ご発表ありがとうございました。

地域の方と関わる経験から、人材不足や後継者不足などの課題が見えるなど、実際に足を運んで調査を行うことの重要性を感じたのではないかと考えました。それを踏まえ、理想像として挙げられたのが観光客で温泉街や商店街が繁盛する姿だとありましたが、地域の人々の生活にも目を向けられるとよりよくなるのではないかと考えました。人材不足や後継者不足などは、人口の流出などが根本的な原因だと考えられます。観光客の増加により山ノ内に住む人が増えればとありましたが、人が出ていく原因、また人が多く住む地域にも着目して比較するなどの活動も面白そうだと感じました。
- この先人口の減少が見込まれる山間部の地域にとって、中学生が地域愛をもつこと。そして、山ノ内の魅力を広めていくことでふるさとを活性化しようとするのは、素敵な取り組みだと感じました。

渋温泉の魅力を伝えるだけでなく、「本当に夏にも魅力がない町なのか」（批判的思考）というめがねで町を見ていくと、「ゴンドラにのって山頂で避暑ができる」、「星空観察会ができる」など、山ノ内の夏にも魅力があることに気づいていけると思いました。さらに、それを外部に発信することで、さらなる観光客の増加、温泉街の活性化が見込めるのではないかと思いました。

「山ノ内のことをインターネットで調べる」とありますが、実際に住んでいる地域についてインターネットで調べるのであれば、過去を調べるといいのかなと感じました。今は廃れてしまっている渋温泉ですが、過去は繁栄していたはずで、その時にどんな魅力があったのか、なぜ多くの人々が訪れていたのか。そこにこれからの山ノ内町を考えるヒントがあるかもしれないと感じました。
- 山ノ内中学校では、「地域活性化のために自分たちにできることを実践しよう」という目標を掲げ、中学三年間を通して取り組んでいるということが分かりました。山ノ内の魅力と課題が簡潔にまとめられていて、皆さんがこの活動を通して地元への愛着を高め、地域の課題に当事者意識をもって取り組んでいるということが伝わりました。
- 地域の10年後を中学生が考えているということに驚きました。スキー場や地獄谷温泉しかないと言われるのは悔しいという気持ちを聞いて、主体的な活動になっているのだと感じました。こういった活動の中でプレゼンもどんどん上手くなっていき、堂々としたりスライドの見やすさなどもこれからパワーアップしていくのだと思います。こういった子どもたちを自分も育てていきたいと感じました。
- ESDの問題を自分事にしていくことは、まずは自分にとって問題意識を感じていくことが大切であるように思いました。そのために、3年間を通して、「知る」「比較する」「発信する」という過程をじっくり各学年の中で味わうことができる構想がとても魅力的でした。また、発表の中で子どもたちの理想、そしてそこに近づくための魅力が、子どもたち自身の取材による実感から立ち上がっていることが素敵だなと感じました。